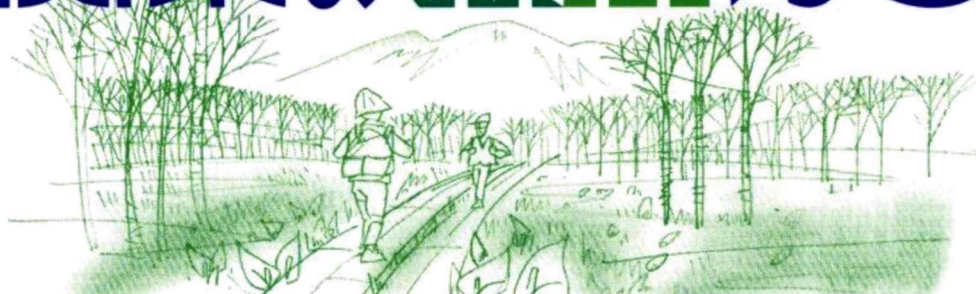


令和8年5月1日

第263号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>




【写真】田子倉ダムから望む越後三山只見国定公園の山々
(会津森林管理署南会津支署)

- ◎ 関東森林管理局の「令和8年度重点取組事項」について 企画調整課・・・1
- ◎ 「関東大震災からの復旧・復興と治山治水について」講演会・現地視察会の開催
東京神奈川森林管理署・・・4
- ◎ 高尾の森から 高尾森林ふれあい推進センター・・・6
- ◎ 森林管理署等からの便り 磐城森林管理署・天竜森林管理署・・・7
- ◎ 森づくり最前線！ 福島森林管理署 福島森林事務所 首席森林官 進藤 正弘・・・9

特集
1

関東森林管理局の令和8年度重点取組事項について

企画調整課



4月21日、「令和8年度 関東森林管理局の重点取組事項」を公表しました。

群馬県庁記者クラブで行われた記者発表において、今年度、関東森林管理局では「森林・林業施策全体の推進への貢献」「公益的機能の一層の発揮」「国民の森林（もり）としての管理経営」を3つの柱として、局管内1都10県にある国有林野119万haの適切な管理経営を図るため、様々な施策を展開していきたいとし、「施業効率化を目指した取組の推進」等、7つの取組について具体的に説明しました。

「令和8年度 関東森林管理局の重点取組事項」の概要については、以下のとおりです。

○ 森林・林業施策全体の推進への貢献

主伐期を迎える中で伐採、再造林が増加しており、造林のコスト低減、効率的・効果的なシカ・クマ被害対策、効率的な木材生産等を通じた林業の採算性の向上に取り組めます。また、地域の林業・木材産業の活性化に貢献するため、木材の安定的・計画的な供給に取り組めます。あわせて、福島森林・林業の再生に向けて、帰還困難区域における森林整備の実証などに取り組めます。



3年間で4mに成長したスギ特定苗木

1. 施業効率化を目指した取組の推進

特に効率的な施業を推進する森林において、①下刈りの回数削減等による「省力・低コスト造林」、②デジタルツールの活用等による「効率的な木材生産」、③瞬間サンプリング法による生息密度調査の結果を活用した「シカ・クマ等獣害対策」を推進します。また、これらの取組成果を民有林関係者に展開することで、地域の林業振興に貢献します。

瞬間サンプリング法：林内に設置した多数の自動撮影カメラにより、5分間隔で1ヶ月間撮影を継続し、得られた画像データを解析することでシカ等の生息密度を推計する方法



カメラ設置状況と撮影範囲



解析画像

上段：ツキノワグマ

下段：ニホンジカ



2. 木材の安定供給

安定供給システムによる木材販売や広葉樹等の利活用にに向けた取組等により、木材を計画的・安定的に供給します。



広葉樹の利活用にに向けた採材検討会の開催（南会津支署）

3. 東日本大震災からの復興・創生への貢献

「福島森林再生センター」を活用し、帰還困難区域において、空間線量率モニタリングを行いながら、既存航空レーザ計測データを用いた森林資源解析、除伐・間伐の事業規模での実証を実施するとともに、搬出間伐の実証も検討します。

4/14 に開所式を開催

（福島森林再生センター）



○ 公益的機能の一層の発揮

国土保全、水源涵養等の重視すべき機能に応じた管理経営を通じて、地域特有の景観や豊かな生態系の保護・管理等を行います。また、国民の安全・安心を確保するため、治山事業による荒廃地の整備や災害復旧等に取り組みます。

4. 重視すべき機能に応じた管理経営

国有林を重視すべき機能に応じて区分し、年齢構成にも配慮しながら、公益的機能の持続的な発揮に向けた長伐期化・複層林化・針広混交林化や花粉の少ない森林への転換、ナラ枯れ対策等に取り組みます。



種苗生産者との協定



花粉の少ない苗木への植替え

5. 森林生態系の保護・管理

小笠原諸島の国有林において、外来種駆除等による原生的な森林等の保護・管理や、群馬県内の国有林において、地域と連携したイヌワシの営巣環境保全等の生物多様性の保全・復元を図る森林施業に取り組みます。

モクマオウ（外来種）への薬剤注入

（小笠原諸島森林生態系保全センター）



6. 国民の安全・安心の確保に向けた治山対策等の推進

土砂流出等の災害から国民の生命・財産を守り、「第1次国土強靱化中期計画」等により治山対策を推進するため、令和8年度は、災害復旧等事業を含めた91箇所で行山事業を実施します。

また、積算作業等を外部委託する発注者支援業務を試行し、得られたノウハウを県・市町村等の自治体にも展開します。



【国有林内治山対策箇所】

木製残存型枠を使用したコンクリート谷止工

○ 国民の森林（もり）としての管理経営

開かれた「国民の森林」として、森林環境教育等の活動支援や関東森林管理局の取組の情報発信等を通じた、森林・林業に関するサービスを提供します。また、様々な企業等の参加による分収造林の導入を進めます。

7. 国民の森林（もり）としての管理経営

地域の自治体等の森林づくり活動、小中学生の森林教室等へのフィールド提供、動画等による情報発信、昭和100年記念分収造林（グリーン・シェアリング）を実施します。



森づくり活動の様子



市町村職員等を対象に実施したクマの生態を学ぶ勉強会

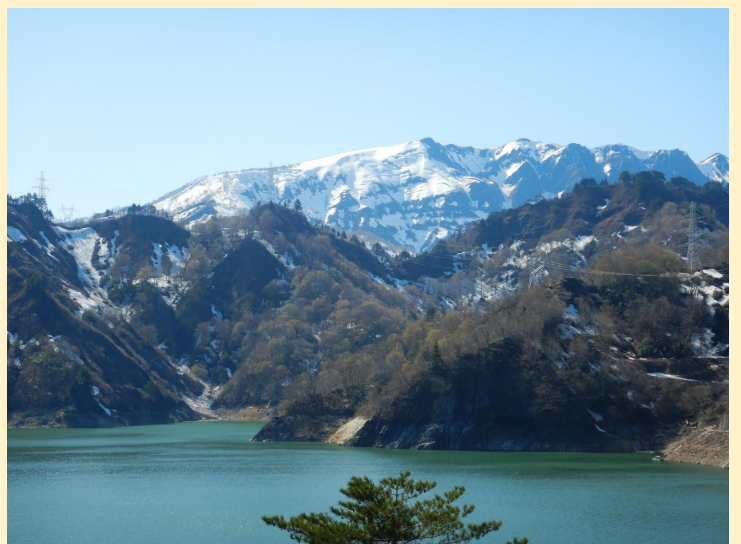


昭和100年記念分収造林

今月の“表紙” えちごさんざん ただみ 田子倉ダムから望む越後三山只見国定公園の山々 (会津森林管理署南会津支署)

越後三山只見国定公園は、広大なブナの自然林や、急峻な山々に降り積もった雪が雪崩となって山体の斜面に刻む「雪食地形」の景観が広がる、我が国を代表する地域となっています。

この日本有数の豪雪地帯を流れる只見川は、流量が多く水力発電に適した河川として、早くから電源開発が行われました。そのうち田子倉ダムは、昭和34年（1959年）に完成した重力式コンクリートダムで、我が国屈指の規模を誇ります。ダムによって誕生した田子倉湖には遊覧船が浮かび、新緑や紅葉の時期には多くの観光客が訪れます。



特集
2

『関東大震災からの復旧・復興と治山治水について』 講演会・現地視察会の開催

東京神奈川森林管理署



1. 開催の背景と概要等



当時の大規模な崩壊地の記録写真【神奈川県森林再生課】
(昭和6年12月以降の撮影)

大正12年(1923年)9月1日、神奈川県相模灘沖を震源とする関東地震(関東大震災)が発生し、また、その後の大雨や翌年の丹沢地震により、神奈川県を含む、関東地方の多くの地域に甚大な被害をもたらしました。

神奈川県内では、丹沢・箱根山地を中心に8,632ha(東京ドームの約1,800倍)の山地崩壊が発生し、当時は、「崩壊で岩肌が露出したため東海道筋の平塚より遠望すると全山が真っ白に見えた」と言われるほどでした。また、下流域では土石流による甚大な被害もありました。

関東大震災直後から帝室林野局と神奈川県により復旧・復興が進められ、丹澤世伝御料地では、大正13年(1923年)から昭和10年(1935年)にかけて、石積堰堤97基、木製堰堤2基、山腹工403.7haの復旧工事が実施されました。この石積堰堤の中には、直径1mにも及ぶ巨石を使用したものが複数基、施工されており、今日まで機能しています。



石積堰堤の施工の様子【東京神奈川森林管理署】



巨石積堰堤の現況(大又澤堰堤・下流側)

令和8年(2026年)は、昭和元年(1926年)から起算して100年を迎えます。

「昭和100年」を契機に昭和を顧みて、先人たちが取り組んだ関東大震災という未曾有の自然災害からの復興に学び、その記憶を共有することは、平成以降に生まれた世代にとっても新たな発見や学びのきっかけとなるものです。また、地域の方々に森林の整備や治山治水等の取組がもたらす効果とその恩恵を実感していただくため、『関東大震災からの復旧・復興と治山治水について』をテーマに講演会と現地視察会を開催しました。

『関東大震災からの復旧・復興と治山治水について』

～「昭和100年」を契機に昭和を顧み、先人たちの取組に学ぶ～

日時：令和8年2月26日(木曜日)

場所：講演会：山北町立生涯学習センター視聴覚ホール

現地視察：神奈川県山北町中川国有林 帝室林野局大又澤堰堤

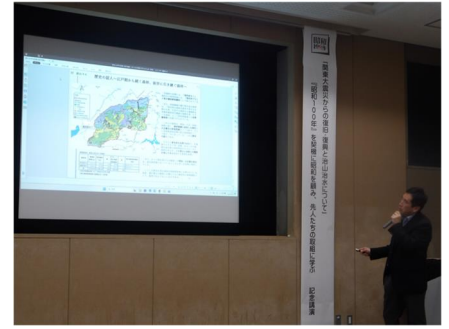
参加者：90名(山北町町議会、文化財保護委員、山北町、神奈川県及び森林管理署の職員)

*山北町、神奈川県西地域県政総合センター及び関東森林管理局東京神奈川森林管理署による共催



2. 講演会

講演会では、最初に「関東大震災前後の森林の状況について～西丹沢における世伝御料地の森林史～」と題して、長年、神奈川県庁で足柄上郡の林道整備、県有林、治山事業などに携わってこられた、内山 豊 氏(神奈川県森林協会専務理事)にご講演をいただきました。



講師：内山 豊 氏

続いて、「震災後の復旧に向けた治山施設の設置・技術等について」と題して、西本 晴男 氏（株式会社共生顧問）にご講演をいただきました。西本氏は、建設省や地方建設局等において、砂防、河川関係の業務に携わり、内山氏らと砂防学会誌に「大正関東地震後の復旧工事で施工された砂防堰堤の特徴～西丹沢周辺における事例を対象として～」を共同執筆されています。



講師：西本 晴男 氏

講師となっていたいただいたお二方からは、「これまでの現地調査や文献調査で収集した資料を整理・発表することができ、大変良い機会となった」と謝意が示されるとともに、参加された方々からも、「これまで知り得なかった貴重な話や資料を提供いただいて有意義な講演であった」など高い評価をいただきました。

3. 現地視察会

午後からは、中川国有林に会場を移し、『大又澤堰堤』（昭和8年（1933年）、帝室林野局築堤、放水路長25m、堤高8m）などの現地視察会を開催しました。

現地では、参加者からの質問に対して西本氏から技術的な解説もされるなど有意義な時間となりました。約100年前に現地巨石を切り出し、加工して積み上げられた治山堰堤は、現在もその機能を変わずに発揮しており、参加者一同、当時の技術者の偉業と恩恵を改めて実感することができました。



『大又澤堰堤』と参加者による記念撮影



高尾森林ふれあい推進センターでは、高尾山を訪れる多くの皆様（子供から大人まで）に森林や林業に対する理解を深め、森林に親しんでいただくため、庁舎1階に展示室とクラフト体験室を常設し、常駐の解説員が展示物の説明を行ったり、木の実や小枝を使ったネイチャークラフト体験のお手伝いをしています。

展示室について



展示室では、森林・林業に関する展示を行っており無料でご覧いただけます。展示の一部をご紹介します。

- ① 樹木の木目・肌目・樹皮等を観察するための標本を「材鑑（ざいかん）」と言います。日本全国から集めた78種の材鑑を展示しています。
- ② 2,800年前の噴火によって火山灰の中に埋もれていた神代杉・神代檜、木目が美しく銘木として利用されてきた天然秋田杉、樹脂分が多く腐りにくいので長生きして巨樹となる屋久杉（小杉）など歴史的にも貴重な巨木の輪切りを展示しています。



樹木の材鑑



巨木の輪切り



クラフト体験の材料

- ③ 林業は、山で長い年月をかけて利用できる木材を育てる作業になりますが、シカの生息密度が高い地域では、シカによる森林被害が深刻になっています。シカや成長を邪魔する草から植栽木を守る「育林バトルゲーム」（子供向け）を体験していただけます。



育林バトルゲーム

クラフト体験室について



クラフト体験室では、木材の良さや利用の意義を学んでもらう「木育」として、木の实や小枝を使った子供向けの工作を無料で体験していただけます（一人1点まで）。

解説員が作り方や注意事項を説明させていただきます。子供（同伴の大人の方）を優先させていただきますが、大人の方も利用可能です。

コナラやマテバシイなどのドングリやアカマツやカラマツなどの松ぼっくりをはじめ、樹木の枝、端材を用意してお待ちしております。

- 展示室・クラフト体験室の開館日
月・火・水・木・土（閉館：金・日）
- 開館時間
9：30～12：00 13：00～15：30

*開館日・開館時間にご注意ください。

教育機関など、貸切利用で閉館する場合がありますので、事前に当センターホームページで開館情報をご確認願います。

ホームページはこちらのQRコードから



現場発

森林管理署等からの便り

～森林管理署等における現場の取組をご紹介します～



『カードゲームを利用した出張授業』を実施しました！

■ 磐城管理署（令和8年2月20日 in 浪江町立なみえ創成小学校）

令和8年2月20日に浪江町立なみえ創成小学校にて浪江町役場農林水産課と合同で5年生10名を対象に、森林教室（出張授業）を実施しました。

浪江町内の森林は帰還困難区域が多いことから森林散策等のフィールド活動が難しいため、教室の中でも臨場感や、地域と森林のつながりを意識してもらえるよう工夫しています。

今回は、昨年も授業を実施した児童（当時4年生）への再授業であったため、担任の先生からの要請を踏まえて特に林業についての話を掘り下げて行いました。

また、林業への関心を持ってもらうための手段として、東北森林管理局が制作し公開しているカードゲーム「ZORING(ゾーリン)」で遊びながら学ぶ時間を設けました。

ZORINGのプレイ時には、各々が自分の山の木材の収穫を目指して、熱烈な対戦を繰り広げており、終了後には「数十年分の林業のワクワク感と困難さを味わえた！」「シカ害ってすごく困る！」と興奮気味に語ってくれました。



どのカードを使おうか悩む児童

カードゲーム
ZORING（ゾーリン）

クマに扮して授業する

浪江町役場職員

福島県産材を使った
大屋根リングの説明

引き続き、森林・林業の理解促進に貢献する活動を実施してまいります。

『現場管理から学ぶリスクアセスメント』講習会を開催しました！

■ 天竜管理署（令和8年3月2日 in 浜松市天竜区瀬尻国有林）

天竜森林管理署では、危険を読み、労働災害の芽（リスク）を摘むための効果的な手法を学ぶため、令和4年度からリスクアセスメント講習会を開催しています。令和8年3月2日、浜松市の瀬尻国有林において、4回目となる講習会を開催し、静岡県、浜松市、林業事業者等から31名の方にご参加いただきました。

当日は、林災防静岡県支部の安全指導員である今井 保隆氏を講師にお招きし、①リスクアセスメントの必要性、②実習（現地踏査、個人及びグループワーク）、③改善策の検討について、ご講義いただきました。

現地踏査では4グループに分かれ、自然条件（地形、傾斜、地質、水源の有無、下層植生、立木の配置状況など）と社会的条件（現地までのアクセス、携帯電話の電波状況、緊急時の対応など）をつぶさに観察し、危険因子の洗い出しと作業計画への反映を行いました。

また、踏査後は、グループ毎に結果の整理とリスク評価を行い、参加者全員で共有し、意見交換を行いました。参加者からは、「安全に対する価値観を多くの皆さんと共有できた」、「今後、自分の職場にもこの手法を取り入れていきたい」など、大変有意義であったとのご感想をいただきました。

現地踏査における観察のポイントは、労働災害の撲滅のみならず、事業実行にあたっての計画作成や事業地選定にあたっての現地確認など、日頃の業務においても役立つものと考えられます。

天竜森林管理署では、引き続き、講習会や安全指導等による安全対策の取組を継続し、林業における労働災害の発生防止に努めてまいります。



現地踏査で危険因子の洗い出し



グループで考察した結果を他のグループに説明し、意見交換

当日の様子を天竜森林管理署のホームページで
ご紹介しています



GREEN×EXPO 2027 ～幸せを創る明日の風景～

2027年3月19日（金）から9月26日（日）まで、GREEN×EXPO 2027が神奈川県横浜市で開催されます。日本における最上位クラス（A1）の開催は1990年大阪花の万博以来、37年ぶりです。1,000万株の花と緑が世界中から集結して「幸せを創る明日の風景」を創り出し、様々な展示や体験を通じて、グリーン社会や自然との共生について考えるきっかけをもたらします。

詳細はこちら

▶▶ <https://expo2027yokohama.or.jp>

チケットサイトはこちら

▶▶ <https://ticket.expo2027yokohama.or.jp/>



メインガーデンイメージ（2026年3月現在）

画像提供：GREEN×EXPO 協会



©Expo 2027



連載
シリーズ

森づくり最前線！

福島森林管理署 福島森林事務所 首席森林官 進藤 正弘

摺上川ロックフィルダム
(福島市飯坂町)

クマによるスギ立木の樹皮剥ぎ

管内の森林についてですが、山形県、宮城県の隣接部分の奥山に所在する天然林から、里山付近のスギ、ヒノキ、アカマツ等の人工林まで、様々な森林が存在しており業務も多岐にわたります。現在、管内で深刻な問題としてはスギ、ヒノキ人工林の熊による剥皮被害や、アカマツ林の松くい虫被害木の倒木対策が挙げられます。リンロンテープによるクマ剥皮被害予防対策や、松くい虫被害木の巡視・伐倒処理を行っており、特に倒木対策においては、桃の産地で有名な福島市でもあることから、果樹園への倒木が発生しないよう細心の注意を払いながら巡視を行っています。

管轄面積が広大で仕事を進めていくためには、地域住民との情報共有や協力があってこそと感じています。今後も地元から信頼される人となり、仕事をしていきたいと思えます。

福島森林事務所は、福島県中通り最北端に位置し、管内は北は宮城県（仙台森林管理署）、西は山形県（置賜森林管理署）に隣接しており、阿武隈川森林計画区における国有林の4分の1に相当する約2万2千haを管理経営しています。

管内南西部に位置する福島県と山形県を結ぶ栗子峠は、明治時代に天皇をお迎えし開通式が行われ「万世大路」と名付けられたことで有名です（旧国道13号）。建設された当時（明治14年）、日本最長のトンネルであった栗子隧道やニッ小屋隧道が廃道となった現在も残され、歴史を感じられる風景が残っています。デジタル化が進む時代、疲れた目や心を癒しに、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

管内の国有林の多くは、北西～西部の摺上川上流域に存在し、これら広大な国有林を水源として摺上川ダムが建設されました。堤高105mのロックフィルダムは圧倒的な迫力で、夏場の最高気温ランキングの上位常連である福島市民が涼を求めて訪れるスポットになっています。また、福島市の水道水「ふくしまの水」の水源にもなっており、モンドセレクション金賞を10年連続で受賞しています。



クマ剥皮被害対策（リンロンテープ）

実施中の筆者